研究計画書の書き方

広島大学 大学院教育人文社会科学研究科 人文社会科学専攻
経済学・経営学プログラム 経済・マネジメントコース

Ⅰ 研究計画書を作成するねらい

【本プログラムからみて】

・出願者の問題意識、志望動機、研究意欲を確認する。

・２年間で修士論文、もしくは３年間で博士論文をまとめる能力を、研究計画書の論理構成や文章表現をもとに評価し、入学の可否を決定する判断材料とする。

・併せて、口述試験のための資料とする。研究計画書の内容は口述試験において詳細かつ具体的に質問するため、あなたが理解していることのみ記述しなければならない。

・研究計画書に記載された研究テーマや研究内容を、本プログラムにおける教員の専門分野と照らし合わせ、出願者が入学した後の教育カリキュラムや研究指導体制を検討するために役立てる。

【出願者からみて】

・本プログラムを受験するに至った動機や目的を明確にする。

・本プログラムへの入学後にどのような研究テーマにどのように取り組むのかを整理する。

・本プログラムの修了後に在学中に修得した成果をどのように活かすかを整理する。

・上記のとりまとめを通じて、入学試験において自分をアピールできるようにする。

Ⅱ 研究計画書に書くべき内容

1 志望理由

・本プログラムを志望するに至った動機を説明する。

・自己の職歴との具体的な関連性を記述する。

2 研究計画

2-1 研究テーマ

・主題を明記する。副題を付けても良い。

・２年間もしくは３年間で一定の研究成果を出すことができる範囲のテーマであることが必要である。

2-2 研究背景

・可能な限り先行研究を調べた上で、あなたの研究内容が重要であると言える学術的な背景・状況を説明する。

・その研究が重要であると言える社会的な背景・状況を説明する。

2-3 研究目的と内容

・学術的な背景、社会的な背景を踏まえて、あなたの研究が何を達成するものであるのか（目的）を説明する。

・研究は具体的に何を行うものか（内容）を、できる限り詳細に、分かりやすく説明する。

2-4 研究方法

分析方法を説明する。事例分析、インタビュー調査、アンケート調査、実験、介入、データ分析などの何れを使用するかを記述する。

2-5 予想される結果とその意義

研究の結果、どのような発見があると予想されるかを説明する。この時、学術的もしくは社会的に重要な発見である方が望ましい。

3 修了後の計画

修了後のキャリアプランと合わせて、本プログラムで身につけた能力を社会でどのように実践し、役立てるかを記述する。

Ⅲ 研究計画書の様式と分量

・用紙は、A４判縦長で作成する。

・日本語（横書き）で記載する。ただし、引用文献や固有名詞について、原書の記載又は原語の使用を認める。

・文字数は、4800 字以内とする（40 字×30 行で４枚以内）。

・本文とは別に表紙を付け、氏名及びテーマを記載する。

Ⅳ 参考文献

本文とは別に、研究計画書を作成した際に用いた全ての参考文献の一覧を必ず付ける。

Ⅴ 研究業績（参考資料）の提出

博士課程後期志願者のみ、参考資料として自身の公刊した論文等を提出することができる。